

大学生はどのように「腹が立った出来事」について語るのか — ジェンダー表現に注目して —

山本 裕子・酒井 香星

1. はじめに：研究の背景

ことばの男女差が縮小し、いわゆる男性語やいわゆる女性語も言語資源の一つとして活用されていることが指摘されて久しい。因（2003：27-34）ではマンガでの異性語の使用が指摘されたが、自然会話においても陳（2010：88-92）等において異性語が使用されていることが観察されており、「言語資源」としての男性語や女性語の活用は、より一般的に、広範囲に及ぶものになっている。しかし陳（2010：93）、岡本（2020：214）等に指摘があるように、どのような表現でも自由に使用できるわけではなく、やはり異性語の使用には一定の制約があるように思われる。

本発表では、男性語は一般に「丁寧」とは反対の価値を持ち、乱暴な印象との親和性が高いことから、男性語であるか女性語であるかによって、表現しやすい感情の範囲が異なるのではないかという考えを出発点とし、大学生の「腹が立った出来事」について語る会話にどのようなジェンダー表現が用いられるか、実際の会話に基づいて検討した結果を報告する。なお、ここでは伝統的規範から見て男性が用いるとされている語を「男性語」、女性が用いるとされている語を「女性語」とし、それらの総称をジェンダー表現とする。

2. 研究方法と研究課題

本研究では以下の手順で調査を行った。

- ① 大学生の男女 5 名（男性 2 名、女性 3 名）に、同性、異性の友人と相手

を変えてそれぞれ2回(同性の友人と30分、異性の友人と30分)、会話してもらう。

- ② 話題は、「腹が立った出来事」「嬉しかった出来事」の2つとする。
- ③ 合計10会話を採取し、文字化した会話をジェンダー表現に注目して分析する。

なお、本研究では岡本(2020:203)等の先行研究を参考に、文末表現、代名詞類、発音の変化、ぞんざいな表現・語彙を手がかりとしてジェンダー表現を観察した。以下にその一部を例として示す(下線は男性語)。

- ・文末表現(終助詞類):ぞ・ぜ・かよ・よな/わよ・のよ・名詞+よ
- ・代名詞類:お前・こいつ/あなた・発音の変化:すげえ・やべえ
- ・ぞんざいな表現・語彙:でかい・食う

また、本研究の具体的な研究課題は、次の3点である。

- 課題1 ジェンダー表現はどのような場合にどのような形式で現れるか。
- 課題2 ジェンダー表現の使用に男女差、個人差があるか。あるとしたらどのようなものか。課題3 ジェンダー表現と表現したい感情に関係があるか。あるとしたらどのようなものか。

3. 結果と考察

結果は以下の通りである。

- 1) 主に「腹が立った出来事」をどのように捉えるかを示す際に、「男性語による話題の人物の指示」や、以下のa、bのような「男性語を用いたセリフの形」が、話者の性別に関わらず見られた。男性語部分を下線で示す。
 - a. 自分の気持ちを心内発話として示す。
例:(アルバイト先で困った客に対して) こいつ、まじイかれてんなあって(笑)。
 - b. 相手の気持ちや状況を代弁する。(女性話者Aの彼氏の行動について)
例:女性話者A:なんかふたとか開けばなしなんだよ、ごま油とかさ。
女性話者B:なるほどね、そこ閉めろやって思うのね。
こうした発話は多くの場合、「って(思う)」「みたいな」等、引用形式を

伴っていた。

- 2) 男性話者は話題によるジェンダー表現の使用の仕方の相違が少ない。女性話者は調査対象者全員が、「腹が立った出来事」の語りにより多く、より多様な男性語を用いていた。また、これは会話の相手の性別には影響されない。
- 3) 個人差はあるが、概して「腹が立った出来事」の語りに男性語が多く用いられており、男性語は怒りや批判といった否定的な感情とより結びつきやすいように思われる。

このように女性話者は、「腹が立った出来事」をどのように捉えるかを示す際、男性語をより積極的に活用している様子が観察された。否定的な捉え方に共感を求める、あるいは共感を示すために男性語を用いることで、その捉え方を誇張していると考えられる。また、引用の形式や笑いを伴うことで「見立て」であることも示され、女性話者にも男性語が使用しやすいのではないだろうか。

本調査は限られた人数で大学生のみを対象としたものである。今後、他の世代も含めて調査を進め、ジェンダー表現の使用についてさらに考察を深めたい。

[引用文献]

- 岡本成子 (2020) 「大学生の会話と性差 — ジェンダー構築の観点から —」『日本語の自然会話分析 — BTSJ コーパスから見たコミュニケーションの解明 —』195-218, くろしお出版.
- 因京子 (2003) 「マンガに見るジェンダー表現の機能」『日本語とジェンダー』3, 17-36, 日本語ジェンダー学会.
- 陳一吟 (2010) 「大学生の雑談に表れるジェンダー表現の機能」『日本語とジェンダー』10, 86-94, 日本語ジェンダー学会.

(やまもと ひろこ・愛知淑徳大学教授)

(さかい かほ・樹人医護管理専科学校教学助理)